

2012年3月期 決算説明会

• 2012年3月期決算について

• 事業構造改革の進捗状況

• 2013年3月期計画について

• 今後の成長戦略

2012年5月17日

 新日本無線株式会社

2012年3月期決算について

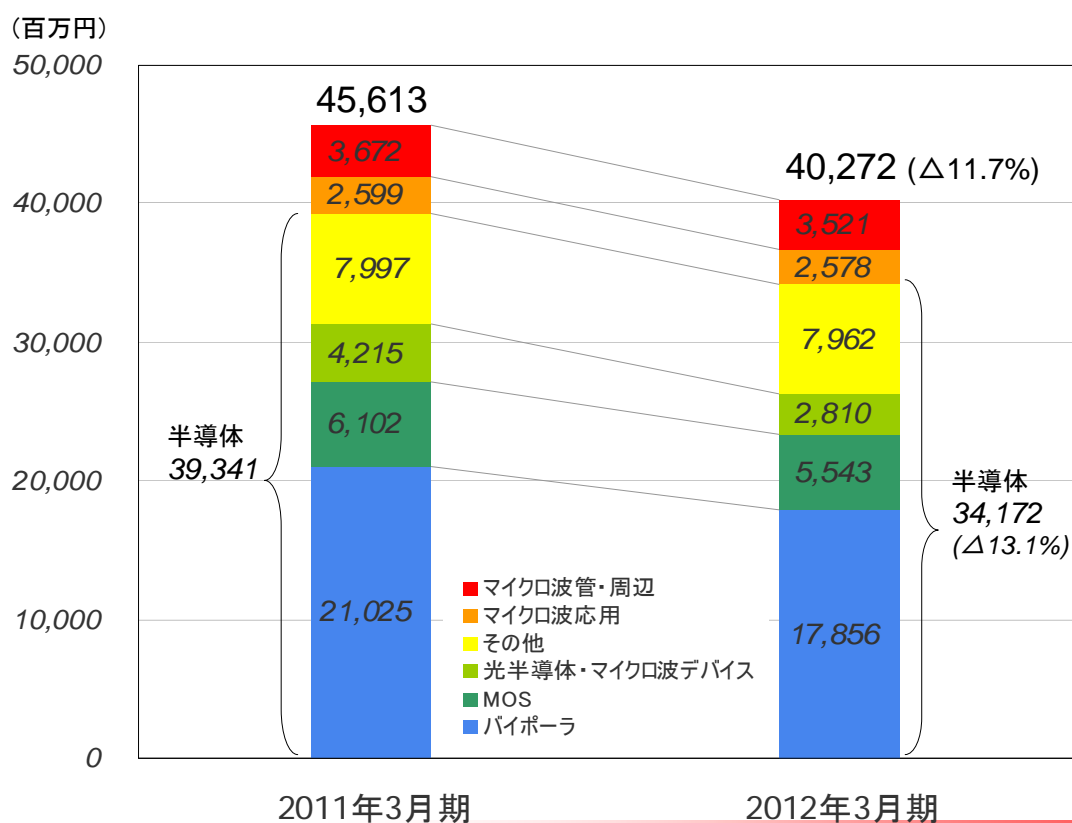
2012年3月期決算サマリー

(単位: 百万円)

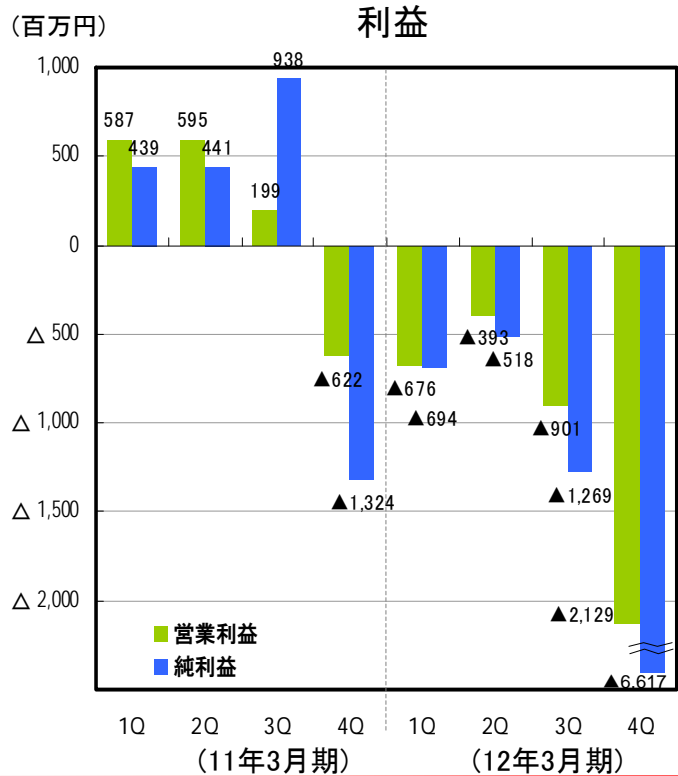
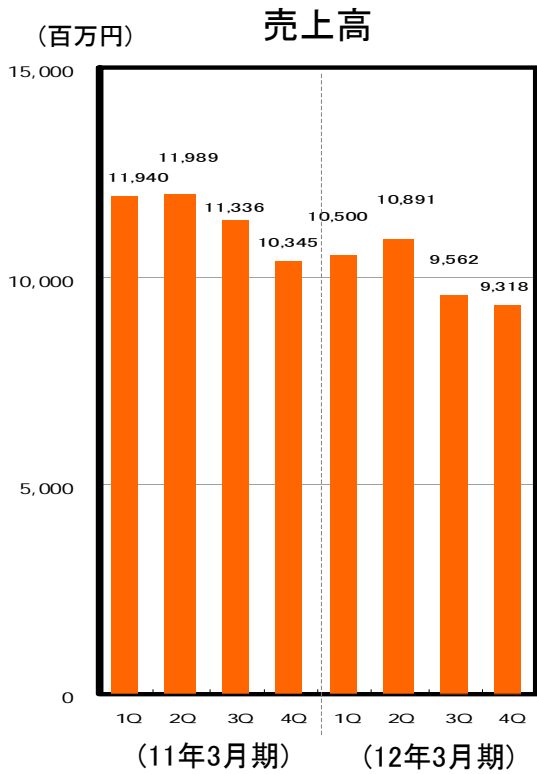
	2011年3月期	2012年3月期	増 減
売 上 高	45,613	40,272	△5,341
営 業 損 益	761	△4,101	△4,862
当期純損益	494	△9,098	△9,592

- ・ 主力の半導体受注減少に伴う減収
- ・ 2012年3月期平均為替レート: 1US\$ = ¥79.06
- ・ 事業構造改革に伴う特別損失 4,847百万円 計上
- ・ 配当(中間・期末)は見送り

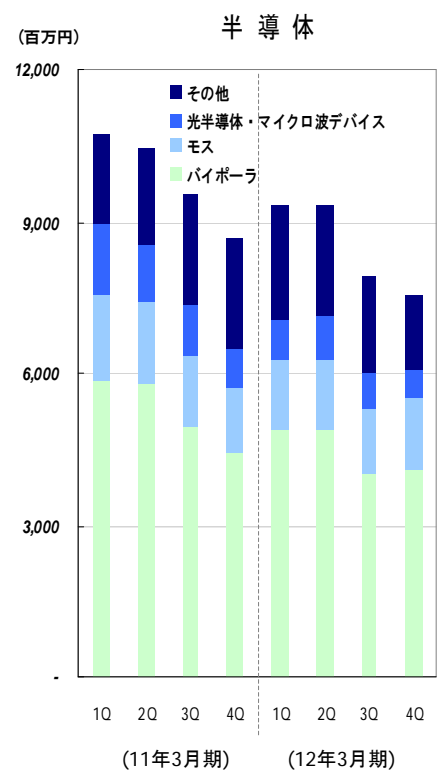
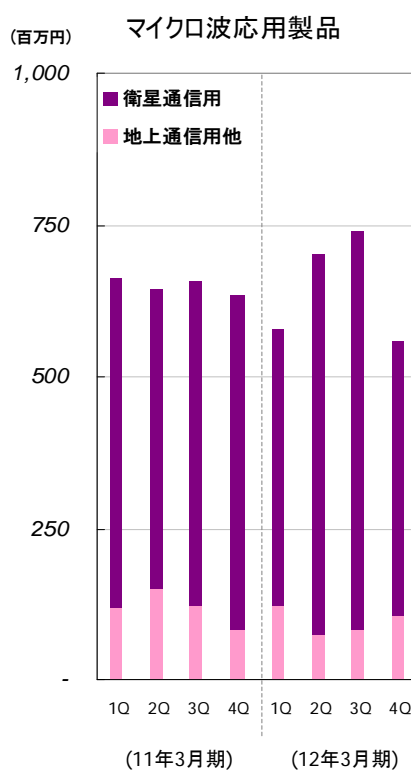
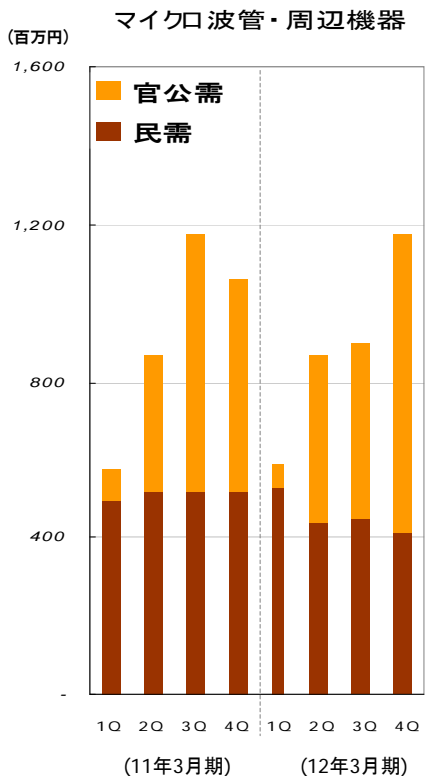
売上高(前期比)



業績推移(四半期別)



セグメント別売上高の推移



2012年3月期業績

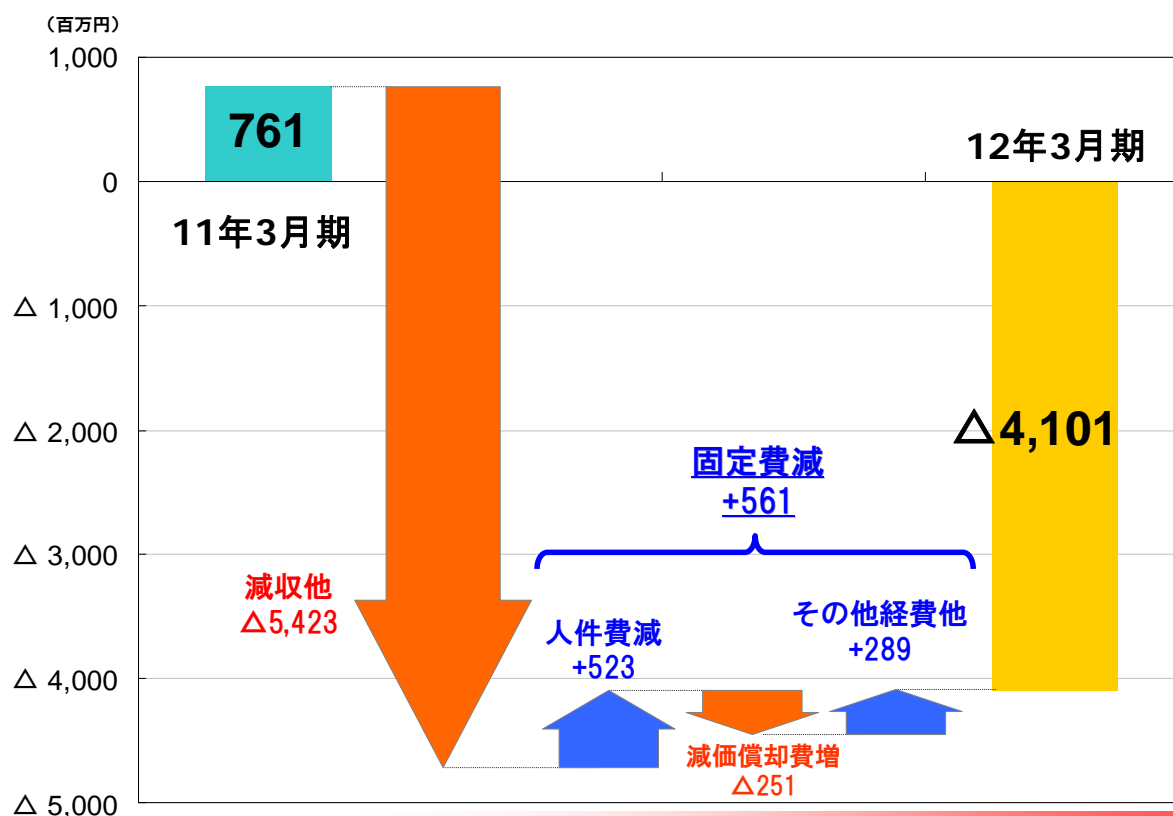
(単位: 百万円)

	再生プラン (2011.8.30)	修正計画 (2011.10.31)	実績	差異
売上高	45,000	41,000	40,272	△728
営業利益	△2,900	△4,500	△4,101	399
当期純利益	△7,000	△9,000	△9,098	△98

※計画上の為替レート: 1US\$ = ¥80.00

※2012年3月期平均為替レート: 1US\$ = ¥79.06

2012年3月期営業利益の分析



事業構造改革の進捗状況

8月30日の発表より250日を経て

事業構造計画策定の基本方針



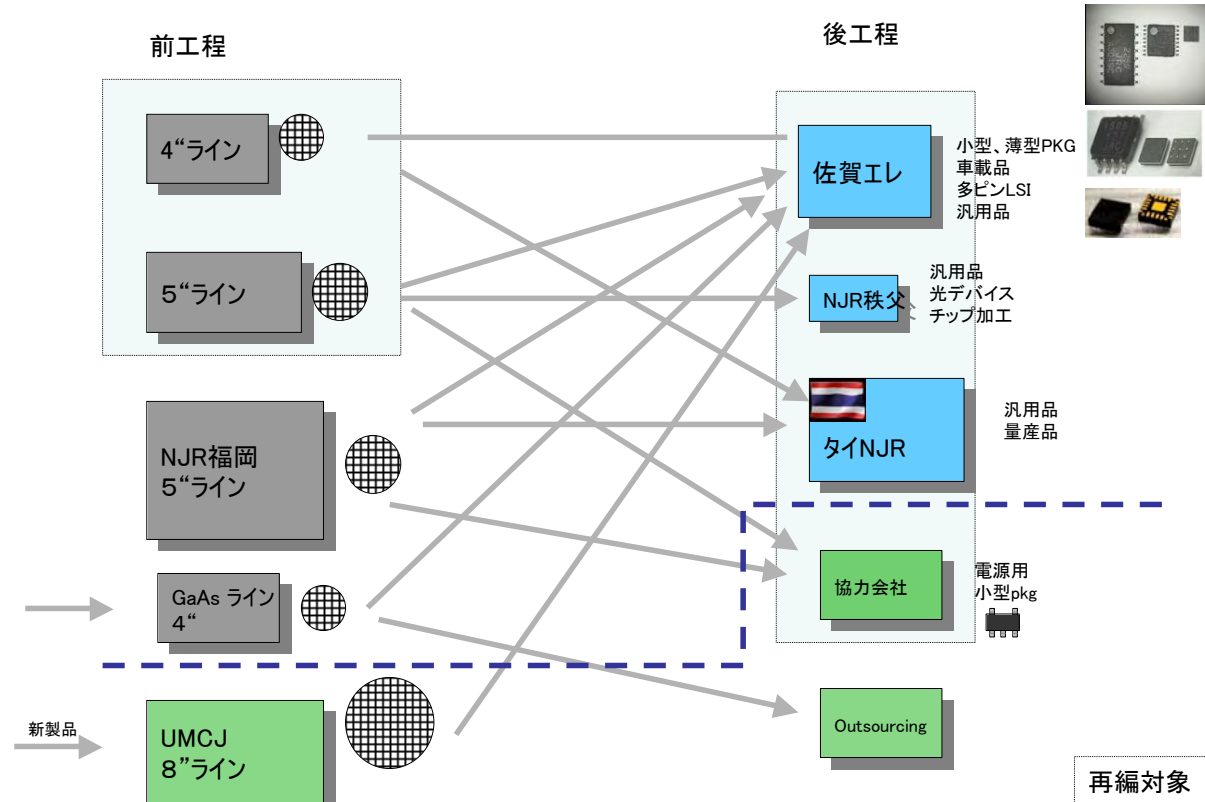
- **低成長でも利益を創出できる会社に**
 - **実行可能な計画**
 - 生産ラインの適正化
 - 前工程の再編成
 - 後工程の再編成
 - ベースライン製品の再生
 - **売上額に応じた再編**
 - R&D費用の見直し
 - 間接部門の見直し
 - **不採算セグメントの整理**
 - **成長率 ; 5%/年**
 - **80円/\$**

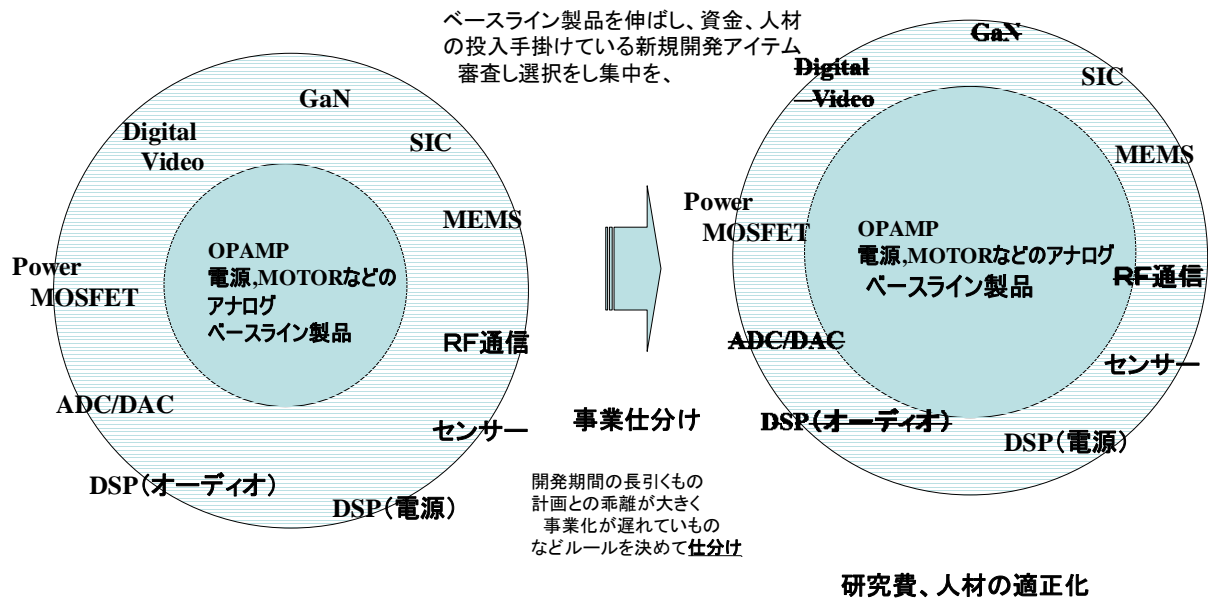
赤字幅の大きい半導体事業から着手

構造改革の主な動き

- 2011
 - 8/30 構造改革による再生プラン提示
 - 9/1 後工程の移管開始
 - 佐賀エレからタイへの移管開始
 - NJR秩父からタイへの移管開始
 (NJR秩父は3月をもって閉鎖)
 - 前工程移管のためのクリーンルーム拡張工事
 - 12月移管開始し、3月終了し、生産開始
 - 10/1 大幅な組織のスリム化実施(部課の30%削減)
 - 10/E 計画の修正並びに業績の下方修正
 - 11/E 希望退職募集案内
 - 2012/1 募集定員を超えて終了
 - 3月末で退職(一部6月)
- 2012
 - 12/1 リファイナンス(90億円)
 - 2012/03 終了
 - 12/3 来期に向けての新体制発表

NJRCの半導体生産ラインの全体





R&Dテーマの選択と集中

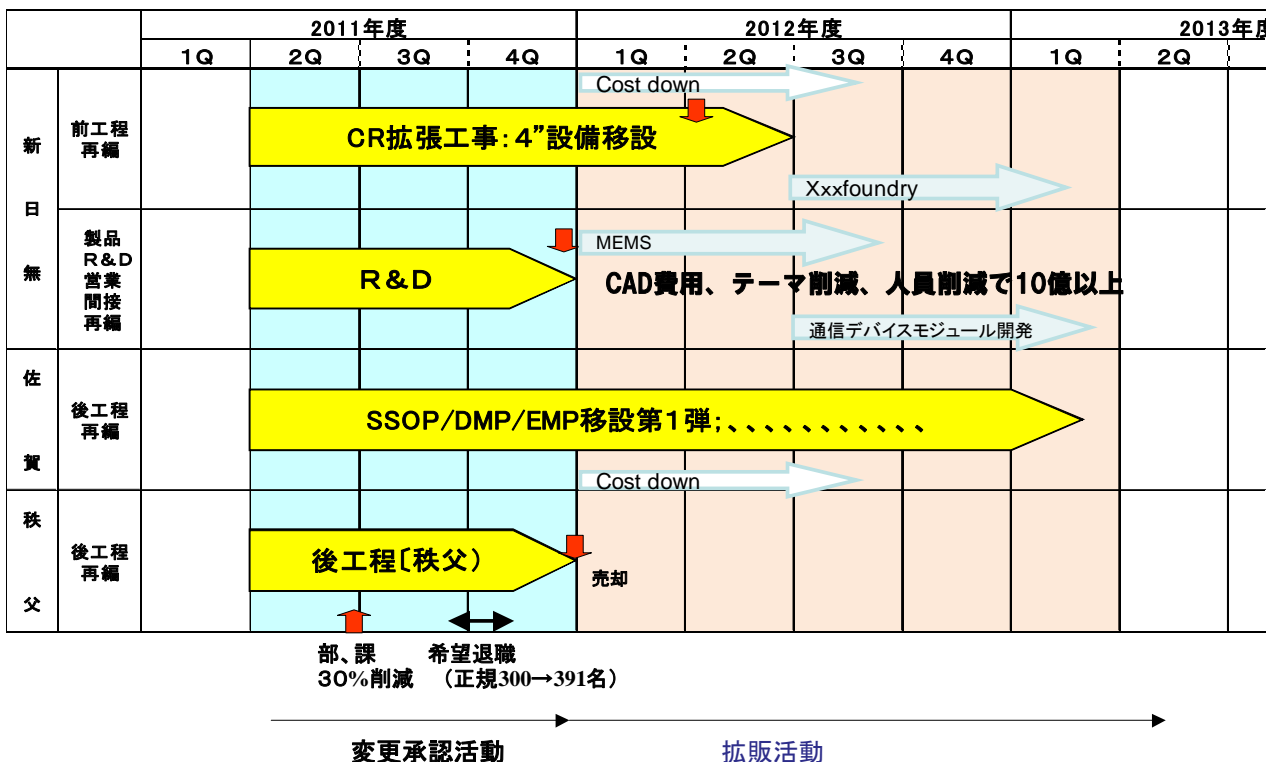
アイテム	結果
DSP (オーディオ用)	中止
DSP (デジタル電源制御用)	継続
デジタル・ビデオ・プロセッサ	中止
微弱無線トランシーバーIC	中止
ワイドバンドギャップ半導体デバイス	SiC: 継続
	GaN: 中止
MEMS (エレメント、マイクアンプ)	継続
UMC Jとの生産協業製品	継続
LDD (Laser Diode Driver)	中止

今年度R&D予算額 : 55億円

開発アイテムの整理、統合する中で選択と集中
ベースライン製品の再整備、強化を推進

一不採算セグメントを統廃合することにより、20%カットが
可能となり、これにより10億円以上の削減を図る。
状況に応じて更なる削減も検討する。

構造改革4本柱の進捗状況

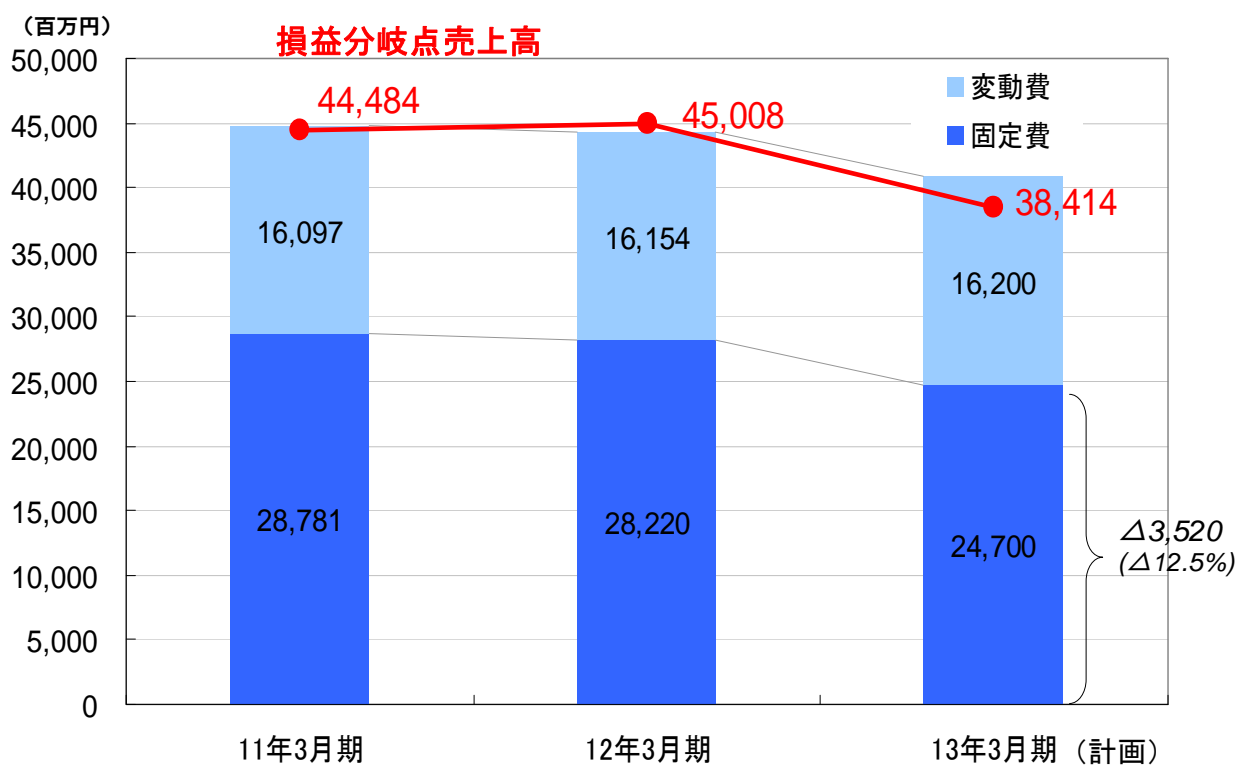


2013年3月期 費用等計画(前期比)

(単位:百万円)

	12年3月期 (実績)	13年3月期 (計画)	増 減	増減率
人 件 費	16,635	13,900	△2,735	△16.4%
経 費	7,762	7,472	△290	△3.7%
減価償却費	3,546	2,845	△701	△19.8%
研究開発費	4,769	3,870	△899	△18.9%
設 備 投 資	3,091	2,290	△801	△25.9%

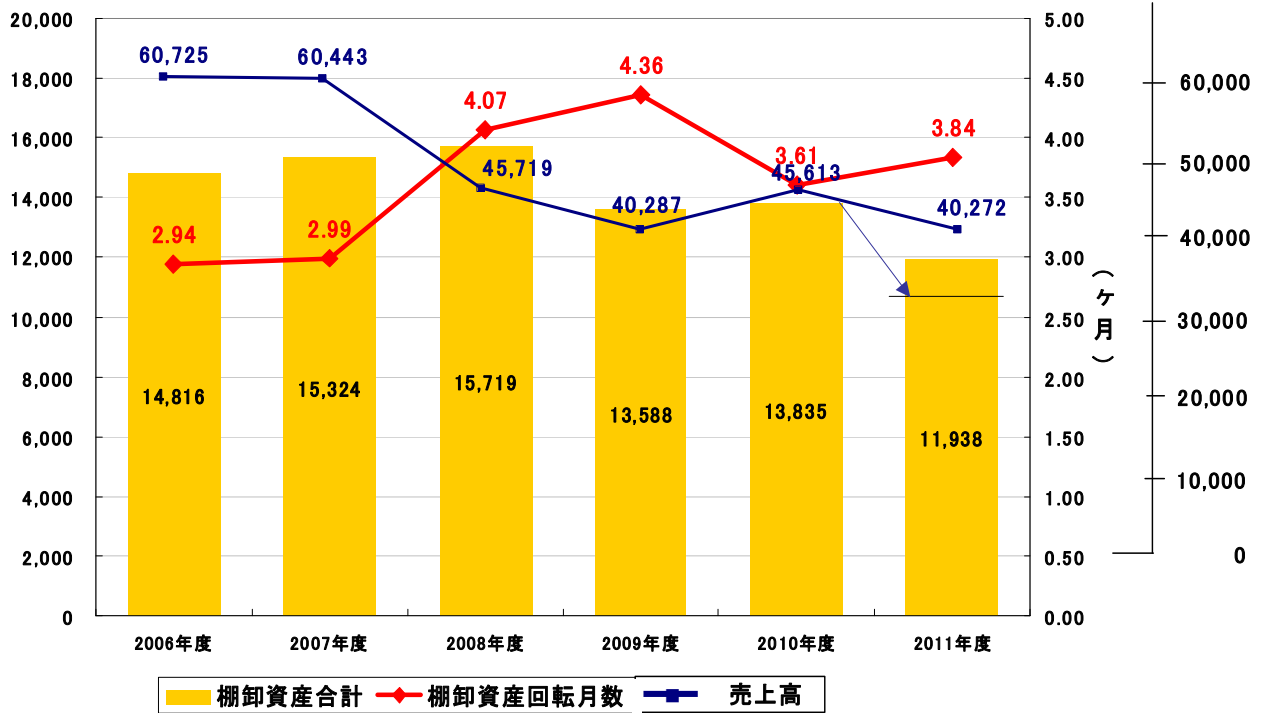
変動費・固定費推移



棚卸資産推移

(棚卸資産: 百万円)

(売上高: 百万円)



2013年3月期計画について

2013年3月期計画(前期比)

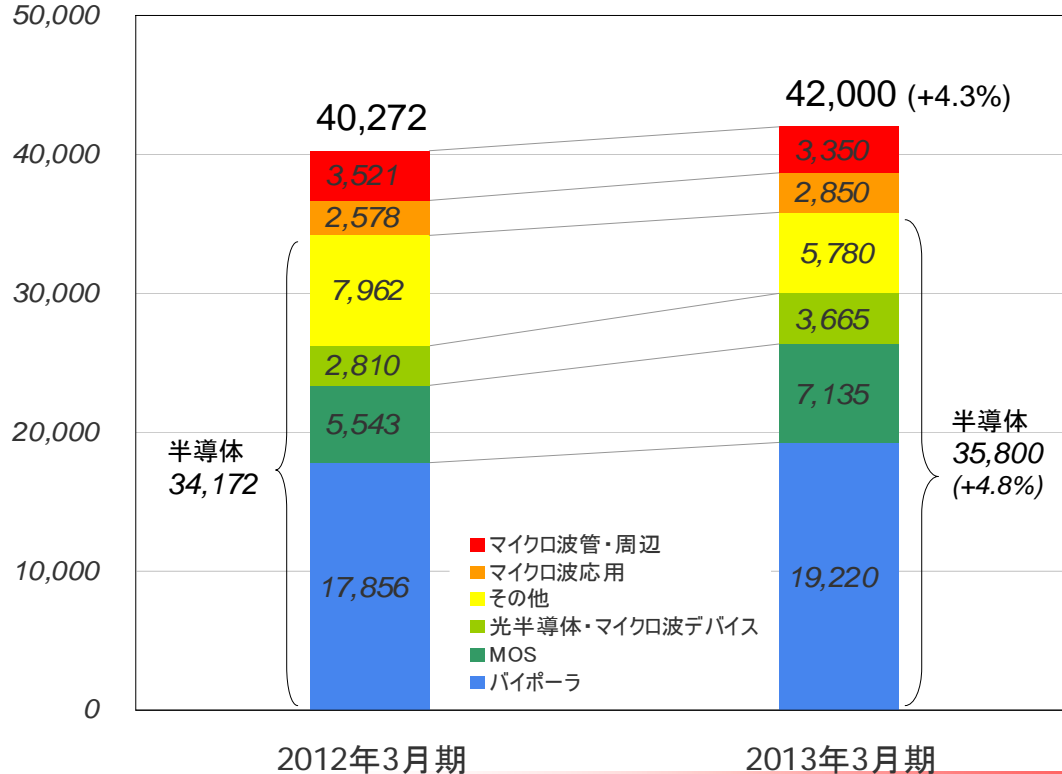
(単位:百万円)

	12年3月期 (実績)	13年3月期(計画)			増減	増減率
		上期	下期	通期		
売上高	40,272	20,000	22,000	42,000	1,728	4.3%
営業利益	△4,101	200	900	1,100	5,201	—
当期純利益	△9,098	90	710	800	9,898	—

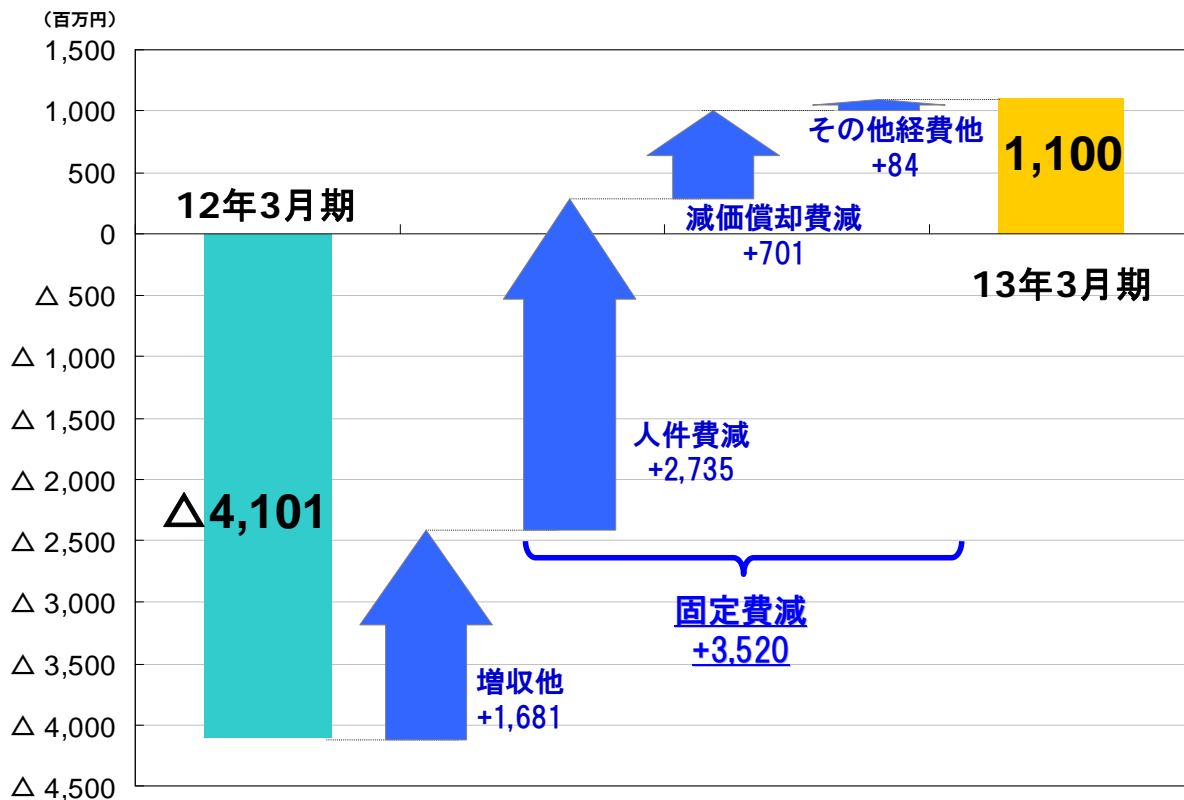
※計画上の為替レート: 1US\$ = ¥80.00

2013年3月期売上計画(前期比)

(百万円)
50,000



2013年3月期営業利益計画の分析



今後の成長戦略

1. 事業構造改革の完遂

- ・「固定費圧縮」によるコスト競争力向上

2. 成長戦略(売上拡大)

- ・販売力強化(PM制、海外販売網)
- ・製品強化(ベースライン製品)
- ・新規製品・受託事業
- ・サプライチェーン最適化

JRCグループ内での協業：通信デバイスの立ち上げ



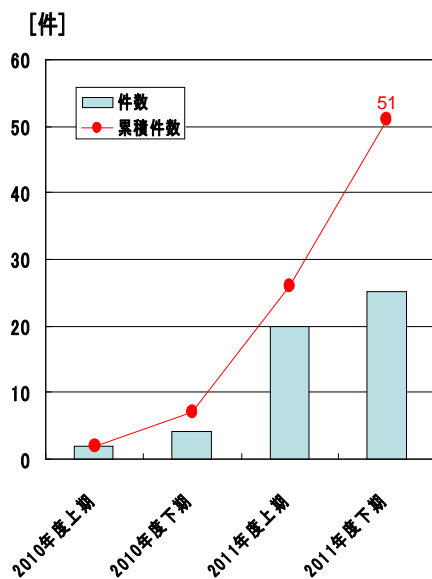


優れた技術
卓越したモノづくりの
融合

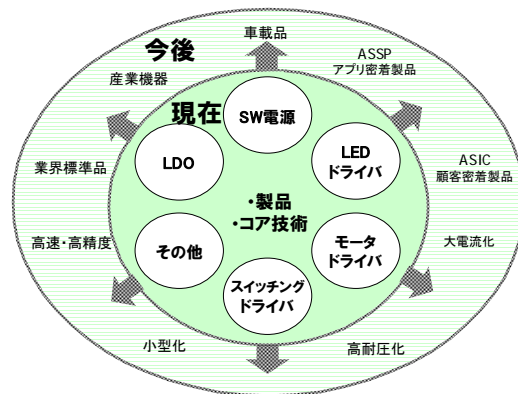
- 通信デバイスでの協業による新分野への参入
 - -相互Chipの融合 (JRCデバイス+NJRC GaAs)
 - -企画と製品化
 - -Mass Prod 対応生産ライン
 - -新市場参入
- 成長市場に向けての立上げ
 - 大型投資決定
 - 下期より量産開始
 - 旧fabの活用
 - Package技術の開発と生産

UMCJとの生産協業製品

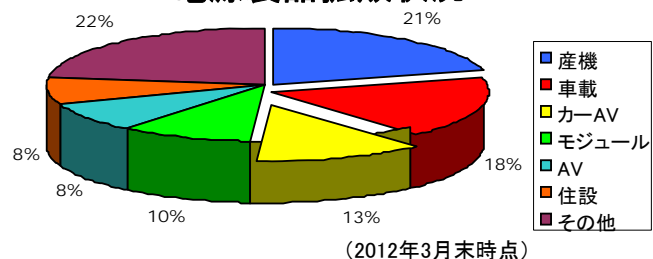
製品リリース実績



主要ジャンル&開発方針



UMCJ電源製品拡販状況

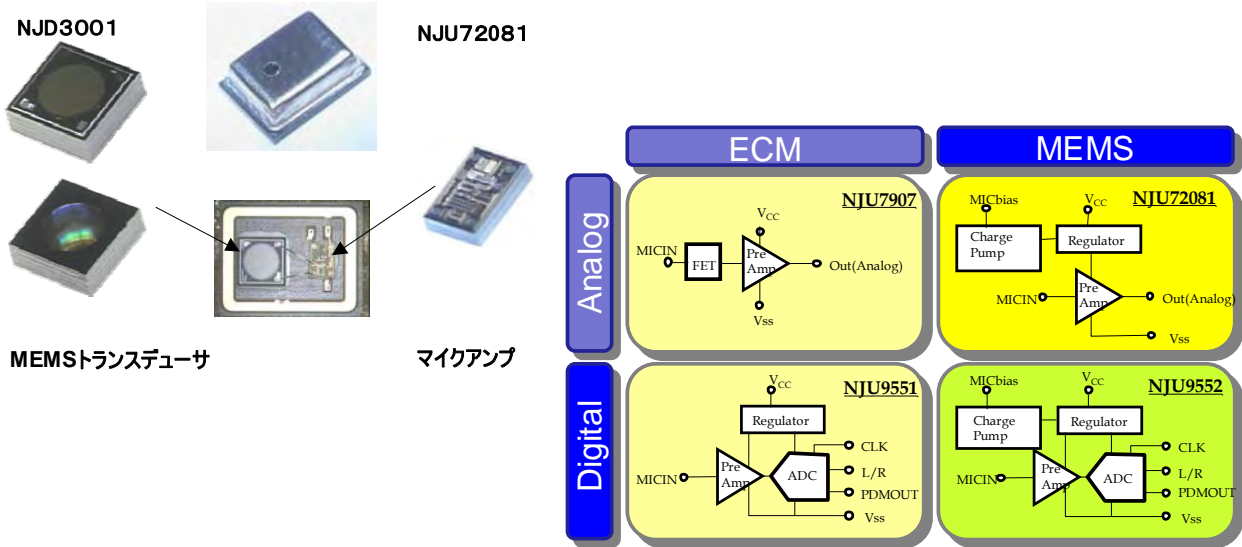


車載・産業機器への拡販

成長戦略 (MEMS & マイクアンプ)

・MEMS (及びECM) マイク市場に参入

製品概要: MEMSトランスデューサ & 4種類のマイクアンプ



成長戦略 (ワイドバンドギャップ半導体 (SiC))

・次世代高効率パワーデバイスとして
低炭素社会実現に貢献

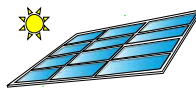
・4インチSi製造
ラインによる量産体制構築中



EV車、HEV車



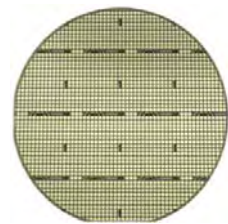
インバータエアコン



太陽光発電



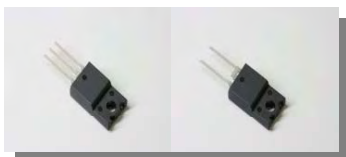
IT機器



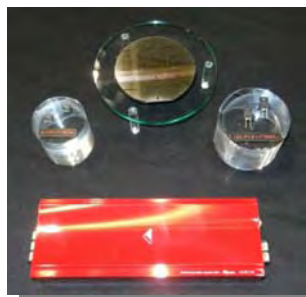
4インチウェハ

・オーディオへの採用事例

SiCダイオード (オーディオ用)



カーオーディオへの使用例



実車への搭載デモ



マイクロ波管・周辺機器及びマイクロ波応用製品

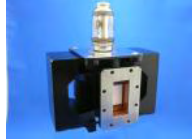
官公需レーダー市場

新スプリアス規制対応製品の開発

背景：新スプリアス規制改正

↓
新規規制対応装備への置き換えが本格化

新スプリアス規制対応
マグネトロン(M1628)



Xバンド
高耐電カフィルタ



海外生産開始(タイNJR)

民需海上レーダー市場

新スプリアス規制対応製品の拡販

背景：新スプリアス規制改正

↓
新規規制対応製品の要求が増加

新スプリアス規制対応電子管

ASC(Advanced Spectrum Control) Magnetron

【V Technology】TM



次期インマルサット用コンポーネントの開発・生産を受注

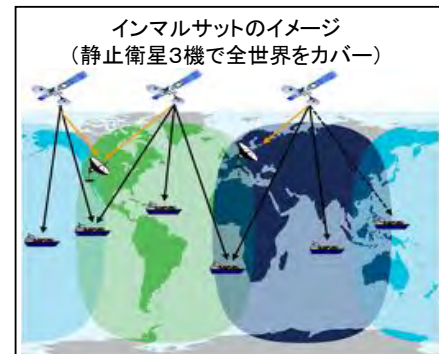
- 既存のシステムに比べ大幅な高速通信を実現 (0.5~2Mbps→50Mbps)
- 2013年後半に衛星打ち上げ/サービス開始 <-開発投資決定
- 船舶と衛星間の通信を担うマイクロ波送受信機の開発・生産を当社が受注



船舶局



船舶局内の当社送信機(例)



インマルサットのイメージ
(静止衛星3機で全世界をカバー)

ご清聴ありがとうございました

JRC 新日本無線株式会社

(業績予想について)

本資料に記載の業績予想値は、現時点での入手可能な情報をもとにした、当社における推測、予測に基づくもので、確約や保証を与えるものではありません。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの予想値と大きく異なる場合がありますから、予めご承知のうえ、ご利用下さい。